〔市内中学校の部 入賞〕

8月の海岸物語

鳥羽市立鳥羽東中学校 三年

川村 密善

小田原行・普通電車・藤沢までの片道きつぷ

私はなぜ

乗っているのだろう

私はなぜ

泣いているのだろう

帰宅ラッシュの中に

Tシャツ姿の私がいる

完全に私だけが違う

私だけがういている

しだいに人は少なくなつてゆく

私の横に座っていた人も

いつのまにかいなかった

藤沢について江ノ電に乗った時には

日はかたむいており

海岸についた時にはもう

星が輝きはじめていた

まわりには

私以外だれもいない

なんだか走りたくなつてきた

なんだか海に飛び込みたくなつてきた

理由はわからない

でも体がそうさせる

体中ビショビショになった

もちろん着替えなんて持って来ていない

私はなぜ

ここにきたのだろうか

その答えが
なんだかわかったような気がした
逃げたかったんだ
今までやってきたことは
なんだったんだろうと思って
むなしくなった
つらくなつた
でも

ここに来てみて気づいたんだ
一番私の事をわかってくれる人
それは自分自身以外だれでもない
大切な「私」なんだということ